

第 102 回医師国家試験・微生物学・免疫学関連問題一覧

(臨：臨床問題，写：別冊写真つき問題，X2・X3：A type 以外の形式)

A問題 (各論：一般 20 問，臨床 40 問)

- A12：ウイルス感染症
- A16：ムンプス (予防と症状，とくに難聴について)
- A25：(臨・X2) 神経梅毒の症候
- A32：(臨) Kaposi 水痘様発疹症
- A38：(臨・写) EKC
- A41：(臨・X2) 中耳炎の起因菌
- A49：(臨・写・X2) 肺腫瘍 or 肺膿瘍

B問題 (総論：一般 40 問，臨床 22 問)

- B 2：WHO の役割 (ポリオ根絶宣言はまだ出していないので×)
- B22：結核対策 (公衆衛生)
- B23：(X2) 弱毒生ワクチン
- B24：院内肺炎
- B26：麻疹の出席停止基準
- B27：(X2) 学校医の職務 (学校伝染病の出席停止措置は校長の仕事で×)
- B29：(X2) 地球温暖化 (マラリア感染地域の拡大が○)
- B43：(臨・X2) 早産の原因 (胎内感染は主要な原因で○)
- B45：(臨) 細菌性赤痢
- B46：(臨・写) 衛生的手洗いの手順 (手首は最後。でもホントにホントかな・・・)

C問題 (必修：一般 15 問，臨床 16 問)

- C 8：微生物と培地・染色法の組合せ (マイコプラズマ→寒天培地で×。PPLO ね。)
- C19：(臨) リンパ節腫脹の鑑別 (化膿性)
- C20：(臨・写) 咽頭培養のサンプル採取器具

D問題 (各論：一般 20 問，臨床 40 問)

- D11：偽膜性腸炎
- D12：(X2) 大腸疾患の内視鏡像 (腸結核=輪状潰瘍で○)
- D15：肝移植の適応 (劇症肝炎は○)
- D17：(X2) 胆のう炎の起因菌 (GNR と嫌気性菌)
- D34：(臨・X2) 非 ABC 急性肝炎の原因 (健康食品，HEV→生肉，の 2 つを疑う)
- D41：(臨) 特発性細菌性腹膜炎 (肝硬変患者)

E問題 (総論：一般 40 問，臨床 29 問)

- E10：免疫担当細胞とその役割
- E11：腸管免疫と IgA
- E12：免疫系の成長・発達
- E21：先天異常の原因 (A 型肝炎が×)
- E24：バイオテロと微生物 (HIV が×)
- E25：補体が関与する疾患 (I 型アレルギーの気管支喘息が×)

- E29 : いわゆる “warm shock” = septic shock
- E36 : 不明熱の原因
- E43 : (臨・X2) 糖尿病昏睡 (感染が誘因。非ケトン性? ケトアシドーシス?)
- E56 : (臨) 髄膜炎 (うっ血乳頭があるのでいきなりの髄液採取は禁忌)

F問題 (必修: 一般 15 問, 臨床 16 問)

- F11 : 清潔操作 (無菌操作) が必要な処置
- F18 : (臨) 乳児の発熱 (抗菌薬無効→BLNAR? 急性中耳炎を疑いまず耳鏡検査)

G問題 (総論: 一般 40 問, 臨床 29 問)

- G25 : (X2) 妊婦に投与できない抗菌薬 (アミノグリコシドとテトラサイクリン)
- G44 : (臨) アレルギーの類型 (ITP)
- G51 : (臨・X2) 結核性髄膜炎の髄液所見

H問題 (必修: 一般 20 問, 臨床 18 問)

- H14 : 血液媒介感染症の予防 (というか標準予防策に含まれる)
- H30 : (臨・写) 輸液の滴下速度と輸液量 (疾患は大葉性肺炎による脱水)
- H31~32 : (臨・写) DM 患者のブドウ球菌性肺炎・胸膜炎

I問題 (各論: 一般 40 問, 臨床 40 問)

- I2 : ATL
- I6 : HUS の徴候 (破碎赤血球, 血小板減少など)
- I8 : (X2) PID の原因 (淋菌とクラミジア)
- I20 : (X2) 新生児髄膜炎の起因为菌 (大腸菌, GBS)
- I32 : AIDS の治療薬
- I33 : ヘルパンギーナの原因ウイルス
- I34 : (X2) HIV 母子感染予防法
- I35 : AIDS の指標疾患 (伝単が×)
- I36 : *H. pylori* 除菌の適応 (逆流性食道炎は×。むしろ除菌後に起こりやすい)
- I37 : (X2) (黄色) ブドウ球菌食中毒
- I62 : (臨) 花粉症 (アレルギー性鼻炎)
- I67 : (臨・X2) 性器クラミジア感染症の侵襲部位
- I68 : (臨) レジオネラ感染症 (温泉旅館利用者での集団発症, 温泉水の常在菌)
- I69 : (臨・写) 緑膿菌性角膜炎・前房蓄膿 (コンタクトレンズによる)
- I70 : (臨) GBS 子宮内感染?
- I71 : (臨) 猩紅熱 (A 群 β 溶レン菌感染症)
- I72 : (臨) クラミジア性尿道炎の治療薬 (and/or 淋菌感染も否定できず)
- I73 : (臨・写・X2) 結核疑い (免疫抑制療法中の喀痰塗抹鏡検で抗酸菌陽性)
- I74 : (臨・写) Creutzfeldt-Jakob 病
- I75 : (臨) ニューモシスチス肺炎 (CD4/8 比で AIDS を疑い原因は β -D-グルカンで)
- I76 : (臨・写) アメーバ赤痢